授業科目　心理測定法

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	言語　社会
寺尾史子	開講時期	後期	必修・選択	必修　選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

適切な対人援助を行うために人間理解の一つの手法として心理測定法を学ぶ。
社会福祉の各分野で用いられている人格検査・知能検査・発達検査などの心理検査のうち、主なものについて学び、各検査の基礎となる理論と実
いての理解を深め、検査結果の利用法や解釈法を習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1、心理検査法とは何か理解する。
2、心理検査の種類と特徴を理解する。
3、心理検査の結果の利用法や解釈法を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	心理測定法の意義と歴史		講義
2	心理検査の種類と特徴		講義　ビデオ
3	知能検査の理論と実際		講義　実習
4	人格検査の理論と実際（質問紙法）		講義　実習
5	〃　（投影法　Ⅰ）		講義　実習
6	〃　（投影法　Ⅱ）		講義　実習
7	作業検査の理論と実際		講義　実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書（必ず購入する書籍）	心理検査の実際	澤田丞司	新興医学出版	２００４　４２００円＋税
参考書	心理テスト法入門	松原達哉	日本文化科学社	２００２　４５００円＋税
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
定期試験、出席状況により評価	